

【ローマ人への手紙 1 章】

「～信仰の従順をもたらすためです。」(1 : 5)

ローマ書と言えば、マルチン・ルターが、この書に触発され、ガラテヤ書と共に信仰義認を強調してカトリックから分かれて、プロテスタント教会が生まれたという重要な意味のある手紙です。

また 4Cの偉大な大司教アウグスティヌスは、その著書「告白」の中でこう言っています。彼がみだらな同棲生活をしていましたが、ある時、隣家の子どもの「とって読め」という声を聞き、近くにあった母からもらった聖書を開いたら、ローマ書 13 : 13-14 の「遊興、酩酊、淫乱、好色、争い、ねたみの生活ではなく、正しい生き方をしようではありませんか。主イエス・キリストを着なさい。肉の欲の為に心を用いてはなりません。」が目に入り込んできて、これを読んで回心したといわれます。母モニカは苦悩の中で教会で祈っていたら、神父が「涙の子が滅んだためしはありません。」と言って励ましたのです。

14～17 節 パウロが以前は福音を恥とした故、クリスチャン迫害をしていましたが、生ける神イエス・キリストに出会って、それがどんなに大きな罪であるかが分かり、その負債を返し、恥とするどころか誇りとして、すべてを捨てて福音を語り復活のイエス・キリストを証しするようになりました。(I コリント 15:3～8)

福音は、信じる者には救いを得させる神の力であり、また神の義が啓示されています。それはアウグスティヌスのように神との正しい関係と交わりを回復することです。パウロはこの恵みと使徒の務めを受けて「～信仰の従順をもたらすため」にこの手紙を当時の世界の首都であるローマの教会の人々へ書き送っています。

信仰の従順とはなんでしょう。「信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについての御言葉によるのです。」(10 : 17) 神様の言葉を受け、聞き従う時に今まで多くの素晴らしい神様のみわざを見てきました。宣教の第 2 ステージに立たされて、本格的なレベルの派遣なども導かれ、もっと正確に神のみ心をとらえて聞き従えば、もっと大きな神の栄光、愛のわざ、癒し、奇跡、死人のよみがえりさえも見ていくことが出来るでしょう。「圧倒的な勝利者」として、私たちは召されているのです！



(天に登録されている長子たちの教会)

Church of the **Firstborn** who are **Registered** in **Heaven**

The Lord's Cross Christian Center

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

SHILOAM 【遣わされた者】

2011.9.4 No.647

今年のみ言葉 歴代士 II 20 : 14～22、特に 15 節

「あなたがたはこのおびただしい大軍のゆえに恐れてはならない。

気落ちしてはならない。

この戦いはあなた方の戦いではなく、神の戦いであるから。」



皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。

教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。